

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

第九



Aga Mikolaj



Kasumi Shimizu



David Butt Philip



Hidekazu Tsumaya

年末に響く「歓喜の歌」
心震わす壮大なクライマックス

ベートーヴェン
交響曲第9番 ニ短調 作品125 「合唱付き」
Bethoven: Symphony No. 9 in D minor, op. 125 "Choral"

ソプラノ=アガ・ミコライ メゾ・ソプラノ=清水 華澄
Soprano: Aga Mikolaj Mezzo-Soprano: Kasumi Shimizu
テノール=デイヴィッド・バット・フィリップ バス=裏屋 秀和
Tenor: David Butt Philip Bass: Hidekazu Tsumaya
合唱=新国立劇場合唱団 (合唱指揮=三澤 洋史)
Chorus: New National Theatre Chorus (Chorusmaster: Hirofumi Misawa)



Markus Stenz

© Haps van der Woerd

ベルリン・フィルなどを指揮!
欧米で活躍するドイツの名匠

指揮=マルクス・シュテンツ

Conductor: Markus Stenz

コンサートマスター=小森谷 巧
Concertmaster: Takumi Komoriya

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター: 0570-00-4390
(10:00~18:00・年中無休)

読響チケットWEB: <http://yomikyo.pia.jp/>
*座席選択してチケットをご購入いただけます。*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

ブレイガイド: チケットぴあ他

【注意事項】東京芸術劇場には一時託児施設があります*事前予約制(12/17, 25)
②学生券: 学生の身分は、開演15分前に現席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を退くことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

■都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

<http://yomikyo.or.jp/>

読売日本交響楽団 2016年《第九》演奏会

●第193回 土曜マチネーシリーズ

12月17日(土) 14時開演
東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)
S¥9,500 A¥7,500 B¥6,000 C¥4,100

●第92回 みなとみらいホリデー名曲シリーズ

12月18日(日) 14時開演
横浜みなとみらいホール (みなとみらい)
S¥9,500 A¥7,500 B¥6,000 C¥4,100

●FUJITSU Presents Concert 《第九》特別演奏会

12月20日(火) 19時開演 *前半に「エグモント」序曲を演奏
サントリーホール (赤坂)
S¥9,500 A¥7,500 B¥6,000 C¥4,100

●第559回 名曲シリーズ

12月21日(水) 19時開演
サントリーホール (赤坂)
S¥9,500 A¥7,500 B¥6,000 C¥4,100

●第193回 日曜マチネーシリーズ

12月25日(日) 14時開演
東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)
S¥9,500 A¥7,500 B¥5,500 C¥4,100

●新菱冷熱 Presents Concert 《第九》特別演奏会

12月26日(月) 19時開演
東京オペラシティ コンサートホール (初台)
S¥9,500 A¥7,500 B¥6,000 C¥4,100

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

協賛: 富士通株式会社 (12/20)、NTTコミュニケーションズ (12/21)

特別協賛: 新菱冷熱工業株式会社 (12/26)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業) (12/17, 21, 25)

事業提携: 東京芸術劇場 (12/17, 25) 協力: 横浜みなとみらいホール (12/18)

クラシック音楽の最高傑作
時代を超え、心に響きわたる『歓喜の歌』

クラシック音楽に燦然と輝く不朽の名作、ベートーヴェンの交響曲第9番「合唱付き」。最終楽章で高らかに響く「歓喜の歌」は、年の瀬の日本を彩る風物詩としても親しまれている。《第九》には、国境を越え、世代を超えて、多くの人に感動をもたらす特別な魅力がある。

今年の読響《第九》公演の指揮には、ドイツを代表する名匠マルクス・シュテンツが登場。長年ドイツ・ケルン市の音楽総監督を務め、ベルリン・フィルやミュンヘン・フィル、ウィーン響などと名演を築き上げてきた世界的マエストロだ。

ミラノ・スカラ座など世界の一流歌劇場で歌うアガ・ミコライをはじめとする国際的に活躍する声楽ソリスト陣、日本が誇るプロ合唱団の新国立劇場合唱団とともに、読響がお届けする至福のひとつをご堪能いただきたい。



指揮
マルクス・シュテンツ
Markus Stenz

幅広いレパートリーで国際的に活躍するドイツの名匠。メルボルン響の音楽監督兼首席指揮者、ケルン市の音楽総監督などを歴任し、現在はオランダ放送フィルの首席指揮者とポルティモア響の首席客演指揮者を勤めている。これまでにベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ミュンヘン・フィル、シカゴ響、バイエルン放送響、ウィーン響、ポストン響など世界の名だたる楽団を指揮している。オペラでは、ミラノ・スカラ座、バイエルン国立歌劇場、フランクフルト歌劇場、ザルツブルク音楽祭、ブレゲンツ音楽祭などに出演。ケルン歌劇場でのワーグナーの楽劇「ニーベルングの指環」や「トリスタンとイゾルデ」は、高く評価された。録音も数多く、エムス・クラシックスからリリースされたマラーの交響曲全集などがある。今回、読響と初共演を果たす。



ソプラノ
アガ・ミコライ
Aga Mikolaj

世界各地で聴衆を魅了する歌姫。シュヴァルツコップの薫陶を受け、2002年から07年までバイエルン国立歌劇場の専属歌手を務めた。以後、ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、ベルリン国立歌劇場、パリ・オペラ座、英国ロイヤル・オペラ、グライントポーン音楽祭などに出演。ロイヤル・コンセルトヘボウ管など一流楽団とも共演している。



メゾ・ソプラノ
清水 華澄
Kasumi Shimizu

目覚ましい躍進をみせるメゾの大器。バーデン市立劇場（こうもり）オルロフスキー、二期会（仮面舞踏会）ウルリカ、〈カヴァレリア・アルスティカーナ〉サントゥッツァ、〈ドン・カルロ〉エポリ公女、新国立劇場及び中国国家大劇院〈アイダ〉アムネリスなどで絶賛を博した。第6回カルロス・ゴメス国際コンクール第2位入賞。二期会会員。



テノール
デイヴィッド・バット・フィリップ
David Butt Philip

将来が期待されているテノールの新星。英国ロイヤル・オペラで数々の作品に出演し、今年はパツパーン指揮（ボリス・ゴドゥノフ）グレゴリーなどで高い評価を得た。2014年にはイングリッシュ・ナショナル・オペラに〈ラ・ボエーム〉ロドルフォでデビューし、絶賛された。V.コロフスキらの指揮で、ロンドン・フィル、ハレ管などと共演している。



バス
妻屋 秀和
Hidekazu Tsumaya

温かみのある深い声を持つ、日本を代表するバス歌手。1994年から2001年までライプツィヒ歌劇場、02年から11年までワイマール・ドイツ国民劇場の専属歌手を務めた。ベルリン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ライン・ドイツ・オペラ、新国立劇場などに客演し、幅広いレパートリーで国際的に活躍している。二期会会員。

新国立劇場合唱団
(合唱指揮=三澤洋史)

New National Theatre Chorus
(Chorusmaster: Hirofumi Misawa)

至高のハーモニーで人類愛を歌う、読響《第九》のベスト・パートナー。新国立劇場で行われる数多くのオペラ公演の核を担う合唱団として活動を展開し、高い評価を得ている。2007年以来、読響《第九》公演に出演を続けている。

読売日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、日本のオーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。現在、常任指揮者はシルヴァン・カンブルランが務めている。サントリーホールでの定期演奏会を軸に多数の公演を開催するほか、小中学校や病院で演奏するなど、クラシック音楽ファンのすそ野拡大にも地道な努力を続けている。



ntt.com



**Transform your business,
transcend expectations
with our technologically
advanced solutions.**

想像を超えるスピードで進化するAIやビッグデータ、IoTの世界。今、求められているのは、
既成の枠組みや概念を取り払い、全てを変革する力。
私たちはその力を、スマートなICTソリューションで届けたい。
お客様の期待を超えて、
ビジネスの新しい未来をかなえるために。